

水性1液速乾変性エポキシ樹脂さび止め塗料

JASS 18 M-111適合品
水系さび止めペイント
JASS 18 M-109性能相当※
変性エポキシ樹脂プライマー
※該当規格性能を満たしています。(社内試験)



1液水性デクロ®

ホルムアルデヒド
放散等級

F☆☆☆☆

さびに強く、乾きの速い水性1液変性エポキシ樹脂塗料です。



※写真はイメージです。

ペイントかわら版
読者募集!

登録無料

いますぐお申し込み。

※QRコードが読み取れない場合は、こちらからアクセスしてください。
<http://paintkwaraban.jp/form>



NIPPON PAINT CO.,LTD.

溶剤形と同等の性能を踏襲し、素早い乾燥性の水性1液さび止め塗料

「1液水性デクロ。」

JASS 18 M-111適合品
JASS 18 M-109性能相当※
※該当規格性能を満たしています。(社内試験)

1液水性デクロは、1液変性エポキシ樹脂さび止め塗料の使いやすさや高防食性を保持したまま、水性化により環境に配慮した、水性1液変性エポキシ樹脂さび止め塗料です。水性タイプですので、従来品よりも臭気が少なく、また消防法上の非危険物として取扱いが可能となり、安全性が高く環境にやさしい塗料です。水性上塗りとの組み合わせにてオール水性仕様となり、鉄部の塗替え等に最適です。

特 長

1

環境配慮形です。

水道水で希釈ができ、臭気が少なく環境にやさしい塗料です。

2

安全性が高い塗料です。

非危険物で、鉛・クロムを一切配合していない、安全性が高い塗料です。

3

安心の高防錆力です。

従来のエポキシ樹脂さび止め塗料と引けを取らない防錆性を有します。

4

幅広い下地に適性があります。

劣化溶融亜鉛めっき※を含む広範囲な下地に適用できます。
※白さび除去は必須です。

5

取扱いやすい1液タイプです。

硬化剤不用の1液タイプで、ポットライフの心配をする必要がありません。

6

速乾タイプで作業性が良好です。

乾燥が速く、作業性にすぐれています。

用 途

建築物の鉄面全般(鉄扉、門扉、手すり、架台、建屋鉄骨など)および鉄部の各種旧塗膜面

※適応素地および旧塗膜につきましては、「各種素地との付着性」および「旧塗膜との付着性」をご参照ください。

■性能比較表

性能項目	1液水性デクロ	水性2液変性エポキシ樹脂塗料	JIS K 5674 2種品
塗装作業性	◎	○	◎
防 錆 力	◎	◎	○
劣化溶融亜鉛めっきへの付着性	○	○	×
塗り重ね時間(23℃)	4 時間	4 時間	4 時間
ポットライフ(23℃)	ありません	6 時間	ありません
希 釈 剤	水道水	水道水	水道水

※弊社従来品との比較での社内試験による。

■旧塗膜との付着性

旧 塗 膜	付 着 性
合成樹脂調合ペイント/フタル酸樹脂エナメル	○※
エマルジョンペイント	○
水性ポリウレタン樹脂塗料	○
水性アクリルシリコン樹脂塗料	○
ポリウレタン樹脂塗料	○
アクリルシリコン樹脂塗料	○

※内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。
下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
注)上記以外の旧塗膜との付着性につきましては、お問合せください。

■各種素地との付着性

素 地	付 着 性	備 考
鉄	○	
ステンレス	○	SUS304など
劣化溶融亜鉛めっき	○※	白さび除去必須
電気亜鉛めっき	○	ボンデライトなど
アルミニウム	○	A1050Pなど
アルマイト処理板	○	
アルマイトクリヤー板	×	
ガルバリウム鋼板	○	
FRP板	○	
硬質塩ビ	×	

※6ヶ月以上暴露された面に使用してください。
光沢がある箇所はペーパー研磨が必要です。
注)上記以外の素地との付着性につきましては、お問合せください。

■適用上塗り塗料

塗料系統	一般名称	製品名
水性系	1液水性反応硬化形鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi
	水性反応硬化形エマルジョン塗料	ニッペ水性ケンエス/ニッペ水性ケンエスグロス
	室内環境配慮形水性つや有り塗料	オーデコートGエコ
	手あか汚れ・皮脂軟化対策水性内部用塗料	オーデノートック
	1液水性反応硬化形ウレタン樹脂塗料	ニッペ水性ファインウレタンU100
	1液水性ラジカル制御形ハイブリッド高耐候性塗料	ニッペパーフェクトトップ
	1液水性反応硬化形セラミック変性シリコン系塗料	ニッペ水性シリコンセラUV
	1液水性反応硬化形シリコン系塗料	オーデフレッシュSi100Ⅲ
弱溶剤系	ターベン可溶1液反応硬化形ウレタン樹脂塗料	ニッペ1液ファインウレタンU100
	ターベン可溶2液形ポリウレタン樹脂塗料	ニッペファインウレタンU100
	ターベン可溶2液形シリコン系塗料	ニッペファインSi
	超低汚染形ターベン2液形アクリルシリコン樹脂塗料	ニッペファインシリコンフレッシュ

注)金属パネル外壁に水性系上塗り塗料を適用する場合は、パネル全面にエンボス等凹凸模様のあるサイディングに限ります。
平滑(フラット)なパネル面へ塗装した場合、塗り継ぎなどの仕上り不良に至る場合がありますのでご注意ください。
注)上塗りまで仕上げた後に補修塗装が必要な場合は、同上塗り塗料にて塗装を行ってください。
注)上記以外の適用上塗りにつきましては、お問合せください。

■塗装仕様例

■塗替え鉄部：シリコン仕上げ（オール水性仕様）

塗装工程	一般名称	製品名	使用量 (kg/㎡/回)	塗り回数	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	水性1液速乾 変性エポキシ樹脂さび止め塗料	1液水性デクロ	0.13～0.15	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	4時間以上 7日以内
上塗り1	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	3時間以上
上塗り2	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	—

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り（1液水性デクロ）で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。

注：上記の各数値はすべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

■塗替え鉄部（内部・準外部）：ウレタン仕上げ（オール水性仕様）

塗装工程	一般名称	製品名	使用量 (kg/㎡/回)	塗り回数	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	膨れたり、割れたり、浮いている劣化塗膜、さび、付着物などの周辺をワイヤーブラシ、ケレン棒、電動工具などで除去し、乾燥した清浄な面とする。							
下塗り	水性1液速乾 変性エポキシ樹脂さび止め塗料	1液水性デクロ	0.13～0.15	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	4時間以上 7日以内
上塗り1	1液水性反応硬化形 ウレタン樹脂塗料	水性ファインウレタンU100	0.13～0.16	1	水道水	0～10 5～10	はけ・ウールローラー エアレススプレー	3時間以上
上塗り2	1液水性反応硬化形 ウレタン樹脂塗料	水性ファインウレタンU100	0.13～0.16	1	水道水	0～10 5～10	はけ・ウールローラー エアレススプレー	—

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り（1液水性デクロ）で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。

注：上記の各数値はすべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

■新設鉄部：シリコン仕上げ（オール水性仕様）

塗装工程	一般名称	製品名	使用量 (kg/㎡/回)	塗り回数	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	完全に付着したミルスケールは残すが、それ以外の不安定なミルスケール、さびは電動工具を用いて除去する。また、ほこり、よごれ、油脂なども入念に除去する。							
下塗り	水性1液速乾 変性エポキシ樹脂さび止め塗料	1液水性デクロ	0.13～0.15	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	4時間以上 7日以内
上塗り1	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	3時間以上
上塗り2	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	—

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り（1液水性デクロ）で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。

注：上記の各数値はすべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

■劣化溶融亜鉛めっき・電気亜鉛めっき面仕様：シリコン仕上げ（オール水性仕様）

塗装工程	一般名称	製品名	使用量 (kg/㎡/回)	塗り回数	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	素地の油や汚れ、付着物をシンナーなどで完全に除去する。発生した白さびは、サンドペーパーやマジックロンなどで完全に除去する。							
下塗り	水性1液速乾 変性エポキシ樹脂さび止め塗料	1液水性デクロ	0.13～0.15	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	4時間以上 7日以内
上塗り1	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	3時間以上
上塗り2	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	—

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り（1液水性デクロ）で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。

注：上記の各数値はすべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

■ステンレス・アルミニウム面仕様：シリコン仕上げ（オール水性仕様）

塗装工程	一般名称	製品名	使用量 (kg/㎡/回)	塗り回数	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法	塗り重ね乾燥時間 (23℃)
素地調整	溶剤拭きにより脱脂後、ペーパー掛けにより表面を粗し、再度溶剤拭きなどで清浄な面とする。							
下塗り	水性1液速乾 変性エポキシ樹脂さび止め塗料	1液水性デクロ	0.13～0.15	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	4時間以上 7日以内
上塗り1	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	3時間以上
上塗り2	1液水性反応硬化形 鉄部外壁兼用シリコン系塗料	ニッペ水性ファインSi	0.08～0.10	1	水道水	0～5	はけ ウールローラー	—

※さびが発生しやすいエッジ部もしくはさびが発生している個所を塗装する場合、入念なケレン後、下塗り（1液水性デクロ）で部分補修塗りをしてから全面下塗り塗装してください。

※外壁面のアルミカーテンウォールなどの平滑（フラット）面へ施工の場合には、弱溶剤系上塗り塗料をお奨め致します。水性系上塗り塗料で塗装の場合は、温度条件に伴う乾燥性に起因して

塗り継ぎムラなどの仕上り不良に至る場合がありますのでご注意ください。

注：上記の各数値はすべて標準的なものです。施工方法・施工条件・被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

ニッペ

1液水性デクロ

■使用方法

- ◆下地調整：塗り替え時の素地調整は発錆部、劣化部は第2種ケレンを、活膜部はサンドペーパー等で表面調整を行ってください。
- ◆希釈剤：水道水
- ◆塗装方法

塗装方法	はけ、ウールローラー塗り
希釈率	0～5%
使用量	0.13～0.15Kg/㎡/回

★上記の各数値は、標準的な数値です。
被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
★上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。
必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

■容量

色	容量
赤さび色、グレー、ホワイト(白さび色)	16kg 4kg

使用上の注意事項 ※詳細な内容につきましては、各製品の製品使用説明書をご参照ください。

1. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
2. 十分な塗膜性能を確保するため、規定の使用量をおまもりください。
3. こみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
4. さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なケレンを行ってください。
5. 鉄、アルミニウム、溶融亜鉛めっき、電気亜鉛めっきなどに塗装する場合は入念な面荒しを行ってください。
6. 下地調整程度が悪い場合には、早期にさびを発生する可能性があります。
7. 乾燥条件によっては塗膜表面に粘着を感じることがありますが、時間とともになくなります。
8. 氷点下で貯蔵すると凍ります。凍らないように5℃以上で貯蔵、保管してください。
9. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
10. 内部塗り替えにおいて旧塗膜がOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜はく離の原因となります。
11. 素地の乾燥は十分に行ってください。
12. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
13. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
14. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
15. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。
16. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
17. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
18. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
19. 薄めずぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
20. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
21. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
22. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
23. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
24. 可塑剤が多く含まれる塩ビソル鋼板、塩ビミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
25. 表面に特殊セラミック処理・特殊ガラスコート処理、フッ素コート処理、はっ水処理、光触媒処理などの特殊な処理を施した素材には、塗料が付着しない場合や、塗膜に不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
26. 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
27. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。
28. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
29. 開缶後は皮張りがしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
30. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
31. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 1液水性デクロ 赤さび色		横倒禁止
1. 本来の用途以外に使用しないでください。 2. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。 3. この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないでください。 4. 必要な時以外は、環境への放出を避けてください。 5. 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないでください。 6. 飲み込んだ場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。 7. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。 8. 吸入した場合：気分が悪い時は、医師に連絡してください。 9. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。 10. ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師に連絡してください。 11. 気分が悪い時は、医師の診断／手当を受けてください。 12. 施設して保管してください。		13. 直射日光や水濡れは厳禁です。 14. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。（偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。） 15. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。 16. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上（スプレー缶の場合は40℃以上）の温度にばく露しないでください。 17. 内容物／容器を国／地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。 ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示と異なる場合があります。 ■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート（SDS）をご参照ください。 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。
警 告		危険有害性情報
		臓器の障害のおそれ（単回ばく露）／長期にわたる、または反復ばく露による臓器の障害のおそれ／水生生物に有害／長期継続的影響によって水生生物に有害

※その他製品の安全衛生上の注意事項につきましては、各製品の安全データシート(SDS)をご参照ください。

日本ペイント株式会社

北海道支店

東北支店

関東支店

北関東信越支店

中部支店

近畿支店

中国支店

四国支店

九州支店

011-370-3101

022-232-6712

03-5479-3614

03-5479-3614

052-461-1960

●本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2020 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-Y080

AA201005T

2020年10月現在